

【JWA WAVE CHALLENGE】  
COLD BREEZE 2023  
PRO-AMA TOURNAMENT  
JWA JAPAN TOUR 2023-2024 WAVE#1  
Dec 23-24,2023



コンディショナル的に、実質1日のみとなった今大会だったが、良いサイズと形の波で、風も4.5~4.0と非常に良いコンディションの中、コンテストを行うことができた。

アマチュア選手の参加も多く、近年では一番盛り上がったコールドブリーズだったのではないだろうか。コンテストの方は、コンディショナル的に1日みの開催となることが予想されたため、プロのヒートに最初からアマチュアを組み込む事となった。





1回戦はアマチュアだけのヒートとなり、勝ち上がった先でプロが待ち受けているという形となった。ウィメンズクラスでは、昨年度の全日本アマチュア WAVE 選手で優勝した、田阪愉香選手が多賀須プロを破りファイナルに勝ち進み、森美奈子プロと対戦することとなった。

メンズクラスではプロ選手が勝ちあがり、クォーターファイナルでは、石井孝良 VS 石井颯太・野口颯 VS 杉匠真となった。

写真:左上【小林悠馬プロ】右上【白方優吏プロ】左下【板庇雄馬プロ】右下【橋本陸汰プロ】



石井孝良・石井颯太の兄弟対決。

少し前までマウイ島に滞在し、「ジョーズ」にチャレンジしていた二人。PWA・IWT でも活躍する二人の対戦はどちらが勝ってもおかしくない。

WAVE ライディングでは拮抗したが、颯太が最初に決めた高いストールフォワードループが決め手となり、決勝には弟の石井颯太が進んだ。



野口颯 VS 杉匠真では、杉匠真がPWA年間ランキング8位は伊達じゃない所をしっかりと見せ勝ち上がった。



ウィメンズクラス決勝

田阪愉香選手VS森美奈子プロ

お互いに一歩も引かないガチンコ勝負

ジャンプは田阪選手の方が良いようにも見えたが、森美奈子の丁寧にリップを攻めるライディングはポイントを手堅く重ね、勝利を呼び込んだ。



メンズクラス決勝

石井颯太VS杉匠真

スナップの効いたターンが特徴で、時に深くボトムターンを繰り返しながらも、クイックに軽やかに波に乗る、石井颯太。

深いターンから縦に上がり、パワフルにもシャープにもトップターンを使い分け、ミスなく完璧と思わせるライディングを披露する杉匠真。



ヒート開始早々に匠真がダブルフォワードループ！！

颯太は WAVE ライディングでゴイターを炸裂させ、二人ともギャラリーを沸かせてくれる。

見ていて本当にどちらが勝ったのか分からないぐらい、二人とも素晴らしい演技だったが、波への深いターンと、波のピークとなるリップでの完成度の高いゴイターを決めた、杉匠真に軍配が上がった。



3位4位決定戦では、石井孝良がジャンプ・WAVE ライディング共に野口颯を上回り3位となった。



シングルイルミネーションが終了し、ルーザースヒートを開始したが、ルーザース1ラウンドの途中で日没となり終了。

2日目は風波共になく、競技ができないため、シングルイルミネーションの成績を持って終了となった。

プロメンズクラス 優勝 杉匠真 2位 石井颯太 3位 石井孝良 4位 野口颯

プロウィメンズクラス 優勝 森美奈子 2位 田阪愉香 3位 多賀須恵 4位 堺希海

アマチュアメンズクラス ベストライディング賞 市川聖士

アマチュアウィメンズクラス ベストアマチュア賞 田阪愉香

アマチュアウィメンズクラス 優勝 田阪愉香 2位堺希海 3位タイ吉岡翔子 3位タイ若狭夏希



大会開催にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

海外で活躍する若い選手が国内戦でもしっかりと魅せてくれ、それに続く選手達も出てきております。

大会がアマチュア選手との交流の場ともなっており、良い流れを作れているのではないかと感じております。

これからも、選手達が活躍できる場・交流の場として、選手だけでなく運営スタッフも楽しめる大会を目指していきます。

これからも、JWA WAVE 委員会のご活動にご賛同いただき、ご支援・ご協力賜れますようお願い申し上げます。

重ねてとなりますが、ご協力いただきました皆様誠にありがとうございました。

心より感謝申し上げます。

JWA WAVE 委員長 吉武雅博



# スポーツくじ



[スポーツ応援サイト GROWING by スポーツくじ\(toto・BIG\) スポーツくじによるスポーツ振興助成について \(toto-growing.com\)](https://growing.com)